

# 株式会社女川観光ホテル 第三セクター経営健全化方針

## 1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和8年1月22日  
作成担当部署 女川町産業振興課

## 2 方針の対象となる第三セクターの概要

法人名 株式会社女川観光ホテル  
代表者名 代表取締役社長 渋谷文枝  
所在地 宮城県牡鹿郡女川町浦宿浜字天王 130 番地  
設立年月日 平成 10 年 11 月 17 日  
資本金 40,000 千円 【女川町の出資額（出資割合）10,000 千円（25%）】  
主な業務内容 ホテル業（宿泊、レストラン、宴会、温泉、会議室、売店等）

## 3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの町の関与

株式会社女川観光ホテルは、「ホテル華タ美」としてホテル、レストラン、浴場及び遊技場の経営、農林水産物・園芸品・工芸品・食料品等地場産品の研究開発及び製造販売、観光土産品の販売等を業務として行っている。

大型の観光ホテルとして本町観光業の中核施設であるとともに、飲食を伴う宴会場を完備しており大規模な催事等の会場としての需要もある。

令和2年から令和5年にかけては新型コロナウイルス感染症の流行により、全国的に観光需要が落ち込み、観光形態の変化に大きな影響を与えた。バスツアー等の団体旅行が減少し、個人化、小グループ化の傾向が強まっている。また、宿探しについても、旅行代理店を通さず、宿泊予約アプリにて旅行者自らが予約を取る方法が主流となっている。ホテル華タ美は団体旅行向けの施設であり、旅行代理店からの送客を多く受入していたことから、個人客への対応については苦慮している状況である。

町としてはアフターコロナの対策として、町内宿泊施設利用者を対象としたクーポン券事業を令和4年度と令和5年度の2か年実施し、観光業の回復を図った。実施結果を見ると、全体の約40%がホテル華タ美の宿泊者であり、微力ながら経営回復への支援となったと考えている。

また、その一方で、近年町内のスポーツ施設を活用したサッカー大会やスポーツ合宿が数多く開催されており、その選手やチーム等の団体客の利用が増加してきている。大会の誘致や合宿の受入については、今後も増加が見込まれているため、大会関係者や観光協会と横断的な連携を図りながら、継続的に誘致できるよう努めていく。

本町は第三セクターとしての当該ホテルに対し損失補償、債務保証等を行っていないものの、出資を行っている。出資者として町長を役員（監査役）に配置し、当該法人との十分な協議や連携を図っているが、今後も引き続き、法人経営の健全化に向けて指導を行っていく。

## 4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

株式会社女川観光ホテルは、町内に唯一ある大型観光ホテルとして本町の基幹産業の一つである観光業にとって大きな役割を果たしており、経済を含む地域活性化のためにも今後も事業を継続していく必要がある。

復興事業の完了による作業員利用の減や新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、現在、債務超過が続いている状況であるが、今後、持続的な経営を実現するためには、収支バランスを意識し効率的かつ安定的な経営となるような取組が求められる。これまでも老人会等の小グループへの営業強化で集客に努めるとともに、一般顧客のインターネットによる集客を図るため、食事の高評価（口コミ）の維持、町内業者等とのタイアップの企画を創生するなどの経営努力による健全化に努めてきたところであるが、さらに経営体制の抜本的な見直しを実施していかなければならない。不採算部門の改善や観光関連事業者との一体的かつ横断的な連携を図るなど具体的な事業の展開等、本町観光業の中心施設の一つとして、交流人口の拡大、利用者満足度の向上に向けた取り組みを行う。

## 5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

1. 月次経営会議等による経営改善の進捗状況の確認
2. 付加価値創出による宿泊稼働率の向上
3. 顧客満足度調査の実施による改善
4. 定期的な従業員研修による従業員満足度、意識の向上
5. 外部有識者からの経営健全化のための、定期的・継続的な助言等による改善
6. 増加傾向にあるスポーツ合宿に特化したサービスの考案
7. 観光協会との連携による、教育旅行や企業研修等の受入推進

### (参考)

## 6 法人の財務状況

貸借対照表から	項 目	金額(千円)			損益計算書から	項 目	金額(千円)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度			令和4年度	令和5年度	令和6年度
	資産総額	315,079	288,484	275,409		経営利益	-11,388	-3,585	-4,631
	(うち現預金)	34,694	19,717	16,753		売上高	131,188	175,981	159,566
	(うち売上債権)	8,636	6,465	6,876		売上原価	28,625	35,970	32,278
	(うち棚卸資産)	951	2,029	2,384		販売及び一般管理費	133,397	144,124	131,327
	負債総額	470,306	447,481	439,221		営業外収益	22,220	4,365	3,402
	(うち本町からの借入金)	0	0	0		営業外費用	2,774	3,837	3,994
	純資産額	-155,227	-158,997	-163,812		当期純利益	-11,573	-3,769	-4,815